

社会医療診療行為別調査の薬剤料比率

		平成11年 (1999)	12 (2000)	13 (2001)	14 (2002)	15 (2003)	平成16年 (2004)	17 (2005)	18 (2006)	19 (2007)	20 (2008)	
		総数										
医科	薬剤料	23.5	22.8	22.5	21.6	22.2	21.6	22.1	21.7	21.5	20.7	
	投薬・注射	20.8	20.1	19.9	18.9	19.6	19.2	19.8	19.4	19.2	18.4	
	投薬	15.5	14.9	14.7	13.6	13.9	13.7	13.9	14.3	14.0	13.0	
	注射	5.4	5.2	5.2	5.3	5.7	5.4	5.9	5.1	5.2	5.4	
	その他の薬剤料	2.6	2.8	2.6	2.7	2.6	2.5	2.4	2.3	2.4	2.3	
			入院									
	薬剤料	12.7	12.1	11.8	12.0	12.0	11.3	12.3	11.2	11.2	11.1	
	投薬・注射	10.4	9.7	9.4	9.7	9.8	9.4	10.4	9.4	9.4	9.4	
	投薬	2.9	2.5	2.5	2.6	2.6	2.5	2.5	2.6	2.6	2.6	
	注射	7.5	7.2	7.0	7.1	7.1	6.9	7.9	6.9	6.8	6.8	
	その他の薬剤料	2.4	2.4	2.4	2.3	2.2	2.0	1.9	1.8	1.8	1.7	
			36.3	36.2	37.0	入院外		38.0	38.1	38.0	38.7	43.0
		薬剤料	33.3	34.1	34.0	33.4	34.5	33.2	33.5	33.0	32.5	30.9
		投薬・注射	30.4	31.0	31.0	30.2	31.5	30.2	30.6	30.1	29.4	27.9
		投薬	26.9	28.0	27.7	27.1	27.4	26.4	27.0	26.9	25.9	24.0
	注射	3.5	3.0	3.3	3.1	4.1	3.8	3.6	3.2	3.5	3.9	
	その他の薬剤料	2.9	3.1	2.9	3.2	3.0	3.0	2.9	2.9	3.0	3.0	
歯科	薬剤料	1.1	1.0	1.0	0.9	1.0	1.0	1.1	1.0	1.0	1.0	
薬局調剤	薬剤料	・	・	67.5	67.8	70.0						

社会医療診療行為別調査

平成20年（2008年） 第15表 医科（入院 - 入院外） - 歯科 - 薬局調剤別薬剤料の比率の年次推移
 平成15年（2003年） 表13 医科（入院 - 入院外） - 歯科 - 薬局調剤別薬剤料の比率の年次推移
 より作成

- 注：1）「医科」及び「歯科」分では、「処方せん料」を算定している明細書、「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書及びDPCに係る明細書は除外してある。
- 2）「薬剤料」とは、総点数に占める、「投薬」「注射」及びその他の診療行為の中の薬剤点数の割合である。

入院外は院内処方薬剤料の比率である。しかし、注：1）に「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書は除外してある、と記載されているにもかかわらず、「人工腎臓」（薬剤料は包括）を算定している明細書は除外されていない。

この結果、分母が大きくなり、薬剤料の比率が減少しているように見える。

分母から「人工腎臓」を除いて計算すると、赤字のように入院外の薬剤料は年々増加している。

医科入院外	総数 (A)	人工腎臓 (B)	(A) - (B)	薬剤費	薬剤費 比率
2001年度	5.8E+10	3.7E+09	5.4E+10	2.0E+10	36.3%
2002年度	5.2E+10	4.1E+09	4.8E+10	1.7E+10	36.2%
2003年度	5.2E+10	4.7E+09	4.7E+10	1.8E+10	37.9%
2004年度	5.0E+10	6.3E+09	4.4E+10	1.7E+10	38.0%
2005年度	5.0E+10	6.0E+09	4.4E+10	1.7E+10	38.1%
2006年度	4.9E+10	6.4E+09	4.3E+10	1.6E+10	38.0%
2007年度	4.8E+10	7.8E+09	4.0E+10	1.6E+10	38.7%
2008年度	4.7E+10	1.3E+10	3.4E+10	1.5E+10	43.0%
	補正值	8.8E+09	3.8E+10	1.5E+10	38.7%

社会医療診療行為別調査より作成